

## 日墨グローバルパートナーシップ研修計画

研修レポート 2017年1月

井山明日香

12月の研修レポートに引き続き、この長期休暇の間に訪れた2つの街について紹介しようと思います。

### Puebla / プエブラ

まず最初に紹介するのはメキシコシティからバスで約2時間半で行くことができるプエブラという街です。ここは「メキシコ郷土料理発祥の地」として有名で、なかでも「モーレ」(唐辛子や木の実、チョコレートで作ったソース)を使った料理が絶品です。モーレ自体はメキシコ中にたくさん種類があるのですが、特にプエブラでよく食べられる味のモーレは特別に「モーレポブラーノ」と呼ばれます。スパイスの辛さとチョコレートの甘さが何とも言い難い味になっていて是非メキシコを訪れた際には試していただきたい料理です。また、プエブラは「タラベラ焼」も有名です。この焼き物は元々の先住民が培ってきた知識にスペインの地中海起源の陶器の技術が加わって生まれたもので、主に白地に青の模様が特徴的です。お皿や砂糖入れ、掛け時計、ピアスなど様々なものが作られていてとても可愛いものばかりでした。

(写真左:モーレポブラーノを使った料理、ポジョエンモーレ)

(写真右:タラベラ焼のタイルが貼られた建物の壁)



## Taxco / タスコ

こちらもメキシコシティからバスで3時間ほどで行ける街です。ここは18世紀にスペイン人によって北中米最初の鉱山が造られ、銀の採掘によって栄えました。現在も山の斜面にそのコロニアル調の美しい町並みが残っています。また街中に銀製品の店がたくさんあり、たくさんの観光客が訪れる街になっています。土日のみに開かれる銀製品の青空市場もあり、アクセサリーなどがとても安く手に入ります。普段はあまりアクセサリーに興味がない私ですが、可愛いデザインのものがたくさんあって十分楽しめました。



そろそろ本研修の折り返し地点に差し掛かってきました。メキシコにきて5ヶ月、初めての海外長期滞在と慣れないスペイン語にあたふたしながらも周りの人にたくさん助けられて楽しく過ごすことができました。残り半年もたくさんの方に挑戦して、たくさんの経験をしていきたいと思います。